

一般質問

一般質問の様子は
市議会のホームページで
録画映像を配信中

12月5日から9日の5日間にわたり、31名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたどりました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。

各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。

※ 動画の再生には別途通信料がかかります。



町田ゆかりの著
名人バンク創設



新井克尚(保守連合)
問 作曲家やアーティスト、アスリートや芸人など、町田にゆかりのある著名人バンクを創設し、活かしてはどうか。
文化スポーツ振興部長 現 在活躍されている多くのアーティスト、それは町田市の大きな財産であると認識しています。提案がありましたバンクについては、実施に向けて検討させていただきます。
問 町田出身のプロミュージシャンと若手のアーティストたちでロックフェスを開催し、まちづくりができないか。
文化スポーツ振興部長 現 アマ、ミュージシャンだけではなく、市民にとっても、また、町田のシティーセールスにとっても利するところが大きいと思いますので、これについても実現できるような取り組みでいきます。



「長寿祝品」、これでいいののか



おさむら敏明(自由民主党)
問 米寿、白寿、長寿祝品がばたん園などの市内公共施設利用券になった。一考を。
高橋副市長 88歳の方が非常に増えて、今までどおりにはいなくなってきた事実もあります。まだこの場ではお話しできませんが、少し工夫をさせていただければと思います。
問 障がい者スポーツの充実が求められているが関心が薄い。合宿、大会など観戦する機会を提供し普及啓発を。
教育長 機会があれば市内の小・中学校に働きかけ、合宿を見学し代表選手と交流させてあげたいと考えています。
問 業種の育成、受注機会の公平化を図り、市内業者によりなる優先発注を求めるが。
財務部長 入札参加資格要件を満たせば参加できるため、主たる業種や市内業者限定で一律に入札参加制限を課すことは難しいと考えています。



「ヒバクシヤ国際署名」賛同を



渡場悟視(日本共産党)
問 平和首長会議(会長・松井一実広島市長)は、第6回国内加盟都市会議総会(11月7・8日)で、「『ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶署名』に対し会議として賛同・協力することとした」総括文書を採用した。平和首長会議の一員として、積極的に協力すべきだが。
政策経営部長 平和首長会議はこの署名に賛同、協力することを16年11月の総会で決まっております。町田市の考え方も同様です。同会議を通して他の国の都市と連携しながら組織的な対応をしていきたいと基本的には考えています。町田市としてできることは、原爆体験が風化することが懸念される中、過去の話を次の時代を担う若い世代に語り継いでいくことで、平和の大切さを伝えていくことが重要ではないかと考えています。



忠生地域ごみ処理を受入れ百年



藤田 学(自由民主党)
問 忠生地域がごみ処理を受入れて半世紀、そして、新たな半世紀が始まることへ市長の所見を伺う。
市長 これまでの、そしてまた今後長年にわたる市民の皆様、とりわけ周辺地域の方々の多大なるご理解とご協力があったことと深く受け止めているところであります。
問 忠生地域まちづくり「バリエーションアッププラン」の都市計画マスタープランへの落とし込み、具体的年度計画は。
市長 18年度に熱回収施設周辺の基本構想を策定いたします。19年度に法令で定められた埋立処分終了届を東京都へ提出することを目指して、現在対策工事の工法などを調査しているところであります。
問 災害復旧、減災対策のさらなる予算確保を求める。
財務部長 既存事業を見直して、予算編成を行いたい。



運転免許証の自主返納について



三遊亭らん丈(自由民主党)
問 高齢者が加害者となる交通事故が多発している。運転免許証の自主返納を促す施策を講じてはどうか。
建設部長 今後は自主返納も含めて、事故を起こさないという点での啓発も盛り込んで、チラシのほか広報まちだやホームページを使って啓発を行うよう検討していきます。
問 国際版画美術館と町田駅間の交通アクセス向上の施策を講じてはどうか。
文化スポーツ振興部長 町田駅からのシャトルバスの運行については、中心市街地のまちづくり、芹ヶ谷公園の再整備等、各担当部署とともに研究していきます。
問 遺贈寄付を望む方への町田市の取り組みを問う。
財務部長 課題もあるが、遺贈したい方がスムーズに手続きできるように、ホームページ等への案内を検討したい。



芹ヶ谷公園の今後とモノレールの



上野孝典(公明党)
問 モノレールの軌道は芹ヶ谷公園を歩道付高架で通すのか。
都市づくり部長 現時点では詳細は決まっていますが、高架構造で整備をするような形になるのかと思います。現在整備されている路線を見ましても、両側に歩道がきちんとつくような構造になっています。近辺にお住まいの方は、歩道を歩いて渡ることが可能になると考えています。
問 芹ヶ谷公園の今後の整備計画は。
山田副市長 17年度に第1期整備区域の実施設計及び樹木の間伐を実施します。18年度からは、芝生広場を初めとした整備工事に着手し、20年度当初からの開園を目指していきます。その後は国際版画美術館周辺及び小田急線側区域を第2期整備区域として、整備を進めていく予定です。



災害時の乳幼児支援／動物愛護



森本せいや(まちだ市民クラブ)
問 災害時の乳幼児対策(避難施設・避難方法等)について、各保育施設への連携呼びかけ及び支援を行うべきだ。
子ども生活部長 乳幼児施設全体で解決すべき課題を検討できる場について、私立幼稚園協会と調整を行っている。法人立保育園協会にも参加いただけるよう働きかけたい。
問 動物愛護啓発の際、動物の虐待やパピーミル等の社会的問題も取り上げるべきだ。
保健所長 飼育業者の監視指導については都と連携して進め、市民に協力いただく、あるいは知っておいていただきたいことは周知を進めたい。
問 働く事が困難な障がい者の日中活動に資する地域活動支援センターの機能強化を。
市長 市の組織全体としてそういうことにチャレンジをする、そこがポイントかなというふうに思っています。



海や川の汚染を防ぐために



わたべ真実(まちだ市民クラブ)
問 昨今はマイクロプラスチックの海洋汚染が問題視されている。鶴見川や境川等の源流をもつ町田市は、どのような取り組みをしているか。
下水道部長 家庭排水は下水処理場で処理を行い、国及び都、県が定めた排水基準に適合した水を放流しています。さらに水質を向上させるため、窒素やリンを除去できる高度処理設備を成瀬クリーンセンターの一部に導入しており、鶴見川クリーンセンターにも導入を進めています。
問 広報まちだが11月からリニューアルされ、市民活動のお知らせの紙面が小さくなったとの声があるが。
広報担当部長 市民サークルが実施している不定期なイベント情報は、広報まちだ以外での周知を行っていないため、今後、必要性も含め研究していきます。



相模原市との連携について



石川好忠(自由民主党)
問 これまでも、相模原市との間で様々な形の連携を図ってきたと思う。具体的な事例と今後の方向性は。
高橋副市長 両市の市長懇談会をほぼ毎年開催しています。この懇談会の合意に基づき、町田市と相模原市の宿泊施設を初め、図書館などの公の施設の相互利用ができるようになり、また、住民票の相互しを初めとする証明書の相互発行なども実施しています。最近では、27年のリニア中央新幹線の開業に合わせた小田急多摩線延伸の実現に向け、両市が積極的に取り組むことを進める合意をしています。市長懇談会以外にも、複数の部署において、情報交換や協議などを定期的に開催しています。今後も、情報交換や協議を活発に行い、両市がお互いに発展していくよう、積極的に連携を図っていきます。



未来のまちだにモノレールを！